

学校だより(いしがき)

第26号 令和4年1月11日
文責: 校長 石橋 節二 TEL94-2038

学校教育目標

「ふるさと中原を担う生徒の育成」
～自律と共同を通して～

今回の学校だよりは、3学期始業式講話、故事成語⑮「蛇足」、1年生マナー検定、難解語句、1月～3月の主な行事予定についてです。

○3学期始業式 校長講話 (令和4年1月11日)

3学期始業式は新型コロナウイルスの急激な感染拡大のためリモートで行うことにしました。3学期は新しい学年に備えるため、毎年志(=目標)を立てることや実現に向けて努力することの大切さについて話をしています。

☆みなさん 明けまして おめでとうございます。

さて、今日から3学期が始まります。2学期の終業式では、1年を振り返り、次なるアクションを起こしてほしいということで、平成元年の12月に本校で講演していただいたバルセロナ五輪(1992年)柔道金メダリストの古賀稔彦氏の話をしました。古賀氏は、夢(=目標)をしっかりもち、その時々課題を逆算して明確にし、やらされる努力ではなく、望む努力を続けることの大切さを語られました。

ところで、アクションを起こすためには、プラン(目標・計画)が必要となります。そこで、3学期の始業式は、新しい年の始まりでもありますので、自らの夢や目標をもち、実現に向けて努力することの大切さについて例年話をしています。今年も、「立志」つまり志を立てるということに関連して話をしたいと思います。

いつも紹介するのは、2024年度からの1万円札の肖像に選ばれている**渋沢栄一氏**についてです。昨年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」でも取り上げられましたが、渋沢氏のことをみなさん知っていますか? 渋沢栄一氏は、幕末から明治期にかけて経済分野で近代日本の礎を築いた人物です。彼は『夢七訓』の中で「人は夢がないと何も始まらない。その夢を具体化して理想となり、その夢や理想を持ち続ける意志の強さが信念となる。そして、一週間後、一ヶ月後、一年後の計画を立て、その計画に基づいて実行すれば、成果、結果が自ずと現れ、幸福を手にすることができる」と唱えています。

立志

渋沢栄一



明治期

日本経済の礎

『夢七訓』

夢七訓 渋沢栄一
夢なき者は理想なし
理想なき者は信念なし
信念なき者は計画なし
計画なき者は実行なし
実行なき者は成果なし
成果なき者は幸福なし
故に
幸福を求めし者は
夢なきもべからず

○2022年がスタートしますが、みなさん一人一人、自分はこうありたいという自分自身の夢(目標=志)をもち、その実現めざして日々挑戦を続けてほしいと思います。

○故事成語⑮

蛇足（だそく）

（戦国策）

春秋戦国時代【今から2400年以上前の中国】

【意味】必要のない物、あっても何の得にもならないもの

【由来】楚（そ）の国の人が1つの酒の入ったつぼをもらいました。みんなでその酒を飲むと少ししか飲めないの
で、早く蛇（へび）の絵を描き上げた人がその酒を全部飲むことにしました。最初に蛇（へび）の絵を描
き上げた者が、ひまになって蛇にはない足をつけ足してしまったため、「その絵は、蛇の絵ではない。」と
言われ、2番目に描き上げた者にせつかくの酒を取られてしまったことから、この語ができました。

○1年生マナー検定

中原小・中学校では、6年生と中学1年生対象にマナー検定を行っています。今年度の中学校は、12月16日（木）の午後の時間に実施しました。マナー検定の目的は、①自己の生き方を見つめ、考える機会にする、②相手を意識、配慮した態度や話し方を学ばせ、コミュニケーション能力の向上を図る、③社会人としての望ましい態度の基礎を育てる、の3つとしました。コロナが流行する前までは、中学校の校長と教頭が小学6年生を、小学校の校長と教頭が中学1年生の面接を行っていましたが、今年も昨年同様小中それぞれで行いました。



【校長室への入室の様子】

面接の方法は5～6人を一つのグループとした集団面接で、①「友達と接する際に心がけていること」、②「入学してから自分が成長したと思うところ」の2つに絞り、事前に考えさせておき、校長・教頭が校長室で質問する形式をとりました。

マナー検定に向けて、学活の時間等を使い、自分を見つめ直したり、礼儀作法の確認をしたりしました。大人でも緊張する面接ですが、本番はものすごく緊張した中に堂々と答えてくれ、たくましく思いました。この経験が高校入試をはじめ今後のいろいろな場面にも生きてくると思います。

○難解語句

移動と異動

移動は、人や物を物理的に場所を変える事。基本的には地図上の位置を変えたら「移動」。異動は、「職場での地位、勤務などが変わること、人事的な動き」を指す。人事的な位置を変えたら「異動」

成長と生長

成長は、「成長期の子供」「成長した犬」「樹木の成長」「高度経済成長」など、人や動植物が育って大きくなる意味のほか、物事の規模や内容が大きくなることも表す。生長は、「稲の生長」など、植物が育って大きくなることを表す。対象が植物。

偏在と遍在

「偏在」は、ある場所にだけ存在する、かたよって存在する意味を表す。「遍在」は、どこにもひろく存在する意味を表します。

冷遇と礼遇

冷遇は、人をつめたく不親切に扱うこと。ひややかな待遇。礼遇は礼を尽くして厚くもてなすこと。「国賓として礼遇する」

生き馬の目を抜く

（いきうまのめをぬく）：他人を出し抜いて利を得るという意味合いも含まれているため悪い意味でも使われます。

アンティーク

：アメリカの関税に関する法律では、製造されてから100年以上経過したもの。アンティーク家具等。

ビンテージ

：もともとは古いワインで当たり年のものを指していたが、ファッションでは古くて価値がある年代ものを意味する。また、100年まではたっていないが完成度が高く古いもの等。

埒（らち）が明かない

：「埒」は、馬場の周囲に設けた柵（さく）のことで、現在では「明かない」と否定表現で難航している状態を表す。物事の決まりがつかない。事態が進展しない。決着がつかない。

○1月～3月の行事予定

※太文字は、3年生入試関係分

- ・3学期始業式 1/11（火）
- ・**県内 私立高校 後期試験 2/3（木）**
- ・授業参観、2年生立志式 2/18（金）
- ・1,2年生学年末テスト2/22（火）24（木）25（金）
- ・**県立一般選抜試験 3/8（火）、9（水）**
- ・**県立高校一般選抜試験合格発表 3/15（火）**
- ・**県内私立高校 推薦・前期試験 1/20（木）**
- ・**県立高校 特別選抜試験 2/8（火）**
- ・**県立高校 一般選抜試験出願 2/21（月）、22（火）**
- ・**佐賀北高校 通信制試験出願 3/2（水）～ 3/15（火）**
- ・第75回卒業証書授与式 3/11（金）
- ・令和3年度 修了式・職員離任式 3/24（木）